

| | | | | | | | |
|-------|-------|-----|-------|-------|------|-----|-----|
| 入学時期： | 4月生 | 学科： | 教養重点科 | コース： | 2年 | クラス | A |
| 科目名： | ペン習字 | | | | | 年次： | 2年次 |
| 担当者： | 田縁 美穂 | 単位： | 1単位 | 授業時間： | 15時間 | | |

■授業概要・方法等

各回、授業の最初に文字の整え方、書くときの注意点など講義する。その内容をもとに、お手本をみながら各自ノートに練習し、書き終えたら赤ペンでチェックする。提出課題については、課題内容をクリアしているかどうかを担当者が採点・評価する。また硬筆書写技能検定試験の練習・実際問題にも取り組み、検定合格を目指す。

■学習・教育目標及び到達目標

書類や場面に応じて、読みやすく美しい文字を書く力は、仕事面でも私人的面でも求められる大切な技能である。文字の形を整え中心をそろえて書く力、基本的な行書を書く力などを身につけ、書面に応じて読みやすい字を書くことができるようになる。さらに硬筆書写技能検定 3 級レベルの実技（縦書き・横書き・はがき書き・ポスター書き）・理論（書き順、部首名、誤字など）試験に合格する力を身につける。書写技能に自信がある人、より高い級を目指す学生は、準 2 級、2 級試験に合格する力を身につける。その他、慶事・弔事の袋の選び方や表書きについて、基本的なマナーを学習する。

■成績評価方法および基準

- ①授業態度（注意事項を理解し丁寧に取り組んでいるか。）40%
- ②課題提出（注意事項を理解し丁寧に取り組んでいるか。期日を守って提出したか。）60%

| | | | | |
|----|--------|-------|-------|------|
| 合否 | 合格 | | | 不合格 |
| 評価 | A | B | C | 不可 |
| 評点 | 100～80 | 79～70 | 69～60 | 59～0 |

< 提出課題内容と配点 >

| 内容 | 配点 |
|--------------------------------|----|
| 課題① 書写課題（ノート） | 10 |
| 課題② 年賀状 | 10 |
| 課題③ 冬休みの課題（検定試験問題 実技・理論）・ノート課題 | 30 |
| 課題④ ポスター書 | 10 |

※提出課題は、期限厳守とし、提出されていないものが一つでもあれば不可とする。

※各課題は A、A'、B、B'、C の 5 段階評価、授業態度は A、B、C の 3 段階評価で点数化し、その合計点で最終評価する。

※採用時期の関係で途中から授業が受けられなくなる者に対しては、授業態度とその時点での課題提出の状況で判断する。

■教科書

ペン字テキスト（本校独自）

練習用ノート

硬筆書写技能検定の練習問題・実際問題

■授業計画の内容

時間割上の科目名:【 ペン字 】

| 時 数 | 内 容 |
|-----|-----------------------------------|
| 1 | ひらがな・カタカナ |
| 2 | 楷書① |
| 3 | 楷書② |
| 4 | 楷書とひらがなによる縦書き |
| 5 | 行書① |
| 6 | 行書② |
| 7 | 行書とひらがなによる縦書き，検定問題演習 |
| 8 | 横書き，行書と楷書の書き分け，縦書き |
| 9 | 行書と楷書の書き分け，縦書き，検定問題演習 |
| 10 | はがきのあて名書き，検定問題演習 |
| 11 | はがきの通信面書き 年賀はがきの作成 |
| 12 | 理論（部首名，漢字の書き順，草書読み，誤字探しなど），検定問題演習 |
| 13 | ポスター書，検定問題演習 |
| 14 | 検定問題演習 |
| 15 | 弔事・慶事の袋の選び方，表書きのマナーなど |

■履修にあたっての注意事項

課題によっては添削を行い，模範解答（印刷物）を配布する。

■その他